



東京地区生コンクリート協同組合
〒103-0027東京都中央区日本橋3丁目2番5号
電話番号 (03) 3271-2181
URL: https://www.t-namakyō.jp/
発行責任者 高村尚

＝協組の動き＝

(7月)

12日(月) 理事会(No. 1151)
26日(月) 理事会(No. 1152)

(8月)

13日(金)～17日(火) 夏季休業
23日(月) 理事会(No. 1153)

夏季休業

8月13日(金)～17日(火)

東京地区生コンクリート
協同組合



登録販売店会議開催

6月8日(火)に32社60名の参加を得て鉄鋼会館において登録販売店会議を開催しました。開催に当たっては、三密回避など感染拡大防止対策を徹底しました。

まず営業委員長による市況対策に関する説明があり、続いて営業部から以下項目①及び②、技術部から項目③の説明を行いました。

① 6月下旬に導入予定のトラックレコードデータ提供システムにおいて以下の機能改善がなされます。

1. 引合の原案データ処理の利便性向上によりデリバリ店は自社パソコンで協組の原案承認データを参照可能になります。
2. デリバリ店は(複数の)上程依頼の提出状況の確認が可能になります。
3. 引合申込時の資料添付は不要になります。

上記変更に伴い、原案会議、引合、納入準備会、における提出資料が変更され、整理されました。

② 納入準備会に新たに技術部が参加することとなり、これに基づき「単位水量推定試験」などの技術的な内容も準備会当日に確認することとなりました。

③ 暑中期における生コンの出荷について及び、単位水量推定試験について、当協

組としての対応方針を記載した文書を作成し、HPにも公開しました。本方針の施工者への展開について協力を要請しました。

今後とも登録販売店会議における関係者との意見交換を活かし、安心で高品質な生コンの安定供給に努めてまいります。

圧縮強度試験の遠隔臨場説明会開催

登録販売店会議と同日、組合員工場を対象に、技術部主催で圧縮強度試験の遠隔臨場についての説明会を開催しました。

数工場で実施した試験結果を元にマニュアルを作成し、これを配布・説明しました。また、現在進めている導入試験の状況を撮影したビデオも放映しました。

遠隔臨場は登録販売店が主催し、生コン工場を招待して実施します。上記マニュアルには遠隔臨場に必要装置の最低限の仕様や、工場が招待された際のソフトウェア(MS Teams)の操作方法や留意点も記載されています。

今回定めた統一手順により、効果的・効率的な遠隔臨場が実現できるものと期待しています。

東京生コンクリート協同組合連合会

第6回通常総会開催

東京生コンクリート協同組合連合会の第6回通常総会が、6月14日(月)に書面開催されました。当連合会は、三多摩、玉川、東京地区の3つの協同組合により、2015年6月に設立され、7年目を迎えています。

本年は、2020年度の事業報告、2021年度の事業計画他各議案ともすべて原案どおり承認可決されました。また、本総会において理事1名辞任に伴う補充選任が行われ、新たに玉川協組の専務理事に就任された入江祥司氏が理事に選出されました。

口に地代は出ない

桐生 了英



5月の総会にて小倉理事の後任として理事を拝命致しました桐生レミコンの桐生でございます。本来であれば着任直後にご挨拶するところではございますが、コロナ禍により遅くなってしまいました。改めまして皆様どうぞよろしくお願いいたします。

就任時のコラムは自己紹介や会社の説明が定石ではありますが、以前に書いた記憶がございます。そこで今回は、日頃お世話になっている東京協組の立地に託けつつ最近思った事を書かせて頂きます。

私にとって協組の場所とは東銀座は山下書店、日本橋は丸善と常に書店とともに在り、通勤途中の立ち読みが何よりの息抜きでありました。

ですが正式に理事になると販売店をはじめ各方面様方より説明を求められる機会も増えたため、読書も趣味ではなく自己研鑽の糧とせねばなりません。ビジネス書や要約本では大筋は把握できても心に残らないので自分の言葉に変換できず、オリジナルですと枝葉末節部分が頭に残りやすい一方で理解に時間が掛かります。

どうしたものかと考えていたら、『SFプロトタイプング』なるメソッドが欧米企業の多くに採用されているとのニュースを聞きました。大まかな内容は「SF作品とは、不確実な未来に向けた現在の在り方と展望の構築、すなわちリスクへの柔軟な対応力とマーケティング力を学ぶための至高の教材である」と言いたいのでしょう。日

本でのSFの地位は読み易いが故に底辺に近く、河出・創元・早川を愛読してきた身にとっては、ビジネス面で光が当たるとは思いも寄りませんでした。コロナ禍で先行き不透明な時期でもあり、自社そして協組、生コン業界で役立つ知識は無いかと既読の本達を総ざらいしてみました。家業に反映させるのは困難が山積しているのを再確認させられてしまいました。

欧米の企業習慣をただ当て嵌めるだけでは負荷が掛かるばかりでしょうし、銀行からもよく古い業界と言われます。

しかし我々の産業は因習を内奥しつつも社会安全に寄与する業種でもあります。いくら他業種で採用されようとして生コン業界にとってあくまで現業が主であって本などの知識は従、和魂洋才ならぬコンクリート魂マネジメントオとでも言うべきでしょうか。

そして東京協組は日本の中心であり規範であります。私も名誉ある東京協組の一員として四十而不惑には程遠くはありますが、家業とともに協組にて職務遂行に頑張りたいと思いますので、皆様今後とも宜しくお願い申し上げます。

(桐生レミコン(株)代表取締役社長)

(※)口に地代はでない(どんなに勝手なことをしゃべっても、それに地代がかかる訳ではない、の意⇒自由奔放な発言をすることのたえ。)

	(出荷数量)		(引合、成約、契残)	
	6月(実績)	7月(想定)	6月(実績)	
	前年比	前年実績比		前年比
大型	202,772 m ³ 120.4%	180,000 m ³ 101.7%	引合	260,148 m ³ 49.7%
小型	30,556 m ³ 101.3%	30,000 m ³ 104.5%	成約	208,835 m ³ 49.1%
計	233,328 m ³ 117.5%	210,000 m ³ 102.1%	契残	3,546,671 m ³ 77.6%

(6月号の契約残が20年5月の数値でしたので、お詫びして訂正します(21年5月3,687,220m³))

◆各委員会

種別	総務委員会	
	氏名	組合員名
委員長	松本 正信	東京エスオーシー

協組 理事改選に伴う新運営体制固まる

新年度各委員会委員長・ブロック長決定

種別	営業委員会		技術委員会		シェア委員会		合理化委員会		資材問題委員会	
	氏名	組合員名	氏名	組合員名	氏名	組合員名	氏名	組合員名	氏名	組合員名
委員長	西森 幸夫	むさしの生コン	水野 達郎	東京菱光	田中 義克	関東宇部	鈴木 孝行	東京コンクリート	中村 憲治	豊川興業

種別	出荷監査委員会		裁定委員会		広報紙委員会		システム委員会		債権管理委員会	
	氏名	組合員名	氏名	組合員名	氏名	組合員名	氏名	組合員名	氏名	組合員名
委員長	森田 和夫	日本強力	斎藤 昇一	上陽レミコン	佐藤 敬治	東京トクヤマ	諸角 富美男	城北小野田レミコン	斎藤 昇一	上陽レミコン

◆各ブロック体制

種別	Aブロック		Bブロック		Cブロック		Dブロック		Eブロック	
	氏名	組合員名	氏名	組合員名	氏名	組合員名	氏名	組合員名	氏名	組合員名
ブロック長	諸角 富美男	城北小野田レミコン	鈴木 孝行	東京コンクリート	水野 達郎	東京菱光	嶋津 成昭	関東宇部	吉田 博	吉田建材

2021年度

夏季休業日一覧表

工場名	8月											工場名	8月													
	9月	10日	11日	12日	13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日		20日	21日	9月	10日	11日	12日	13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日
植木生コン	x			x	x	x	x	x						桐生レミコン	x			x	x	x	x	x				
城北小野田レミコン	x				x	x	x	x	x					内山アドバンス 城南	x			x	x	x	x	x	x			
豊川興業	x				x	x	x	x	x					関東宇部コンクリート工業 大井	x	x	x	x	x	x	x					
横山産業 川口	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	東京湾岸産業	x				x	x	x	x				
関東コンクリート	x				x	x	x	x	x					宮松エスオーシー りんかい	x			x	x	x	x	x				
八洲コンクリート	x				x	x	x	x	x					川崎徳山生コンクリート	x			x	x	x	x	x	x			
内山アドバンス 草加	x				x	x	x	x	x	x				神奈川菱光コンクリート	x			x	x	x	x	x	x			
日立コンクリート 戸田橋	x	x	x	x	x	x	x							第一コンクリート	x			x	x	x	x	x	x			
埼玉エスオーシー 戸田	x	x	x	x	x	x	x							川崎宇部生コンクリート	x			x	x	x	x	x	x	x		
柳下生コン	x				x	x	x	x						内山アドバンス 川崎	x			x	x	x	x	x	x			
横山産業 大和	x	x	x	x	x	x	x	x						神奈川秩父レミコン	x			x	x	x	x	x				
芹澤建材	x				x	x	x	x						溝口瀬谷レミコン	x			x	x	x	x	x				
東京コンクリート 久留米	x				x	x	x	x	x	x	x	x	x	多摩	x			x	x	x	x	x	x			
三多摩アサコンクリート	x				x	x	x	x						大角	x			x	x	x	x	x	x			
尖戸コンクリート工業	x	x	x	x	x	x	x							関東宇部コンクリート工業 溝の口	x			x	x	x	x	x	x			
むさしの生コン	x				x	x	x	x						宮松エスオーシー 川崎	x			x	x	x	x	x				
武蔵菱光コンクリート	x	x	x	x	x	x	x							日本強力コンクリート工業	x			x	x	x	x	x				
内山コンクリート工業	x				x	x	x	x	x					東京トクヤマコンクリート	x			x	x	x	x	x				
東京菱光コンクリート	x	x	x	x	x	x	x							関東宇部コンクリート工業 豊洲	x	x	x	x	x	x	x					
東京エスオーシー 芝浦	x				x	x	x	x	x	x				吉田建材 若洲	x	x	x	x	x	x	x					
関東宇部コンクリート工業 品川	x	x	x	x	x	x	x							吉建エスオーシー 新砂	x	x	x	x	x	x	x					
青木コンクリート	x	x	x	x	x	x	x							上陽レミコン 東京	x			x	x	x	x	x				
井口生コンクリート工業	x				x	x	x	x						東京コンクリート 砂町	x			x	x	x	x	x	x	x	x	x
河島コンクリート工業	x				x	x	x	x						東京エスオーシー 業平橋	x			x	x	x	x	x	x	x		
鈴木コンクリート工業	x				x	x	x	x						内山アドバンス 第二	x			x	x	x	x	x	x			
大功コンクリート工業	x				x	x	x	x						内山アドバンス 第一	x			x	x	x	x	x	x			
トウザキ	x				x	x	x	x						関東宇部コンクリート工業 浦安	x	x	x	x	x	x	x					
協組事務局	x				x	x	x	x						市川 菱光	x			x	x	x	x	x				
														東京エスオーシー 市川	x	x	x	x	x	x	x					
														船橋レミコン	x			x	x	x	x	x				
														日立コンクリート 新砂	x	x	x	x	x	x	x					
														松戸生コンクリート	x			x	x	x						

※ オリンピック・パラリンピック開催にともなう交通規制などにより、変更となる場合もあります。

わが社の
イメージアップ

(株)内山アドバンス



当社は、1963年に創立し今年で58周年を迎え、また昨秋柳内光子社長が新社長に就任し、60周年に向け新たなスタートを切りました。首都圏を中心に当社グループ全体で16工場(直系工場7工場・関連工場9工場)を有しており、日々高品質で多様な製品の安定供給に努めています。ここで“わが社のイメージアップ”につながる取り組みについて重要な経営資源である「ヒト」と「モノ」の面からご紹介します。

初めに「ヒト」の面から取り上げますと、当社は常に優秀な人材の採用と、育成に積極的に取り組んでいます。1983年、当時生コンクリート業界の先駆けとして「新卒採用」を開始して以来、今日まで40年近くにわたり1年も途切れることなく採用を継続した結果、現在では当社従業員の約95%が新卒入社組です。また、昨年久しぶりに理系の学卒女性2名が入社し現在それぞれ、工場の試験課と中央技術研究所に配属され活躍しています。今後も当社は「女性が活躍する職場づくり」を目指して、社内の変革を推進して行きます。

更に、社員研修にも重点的に取り組み、定期的開催の階層別研修、職能研修、課題解決研修、資格取得研修等を通じて人材の育成に努めています。その結果の一例として、有資格者はコンクリート技士116名(内女性

6名)、コンクリート主任技士74名(同2名)、コンクリート診断士20名(同1名)、技術士1名を擁して、技術レベルのアップに繋げています。

一方、「モノ」の面からは工場設備について触れますと、2016年に千葉工場・内山城南コンクリート工業(株)2017年に横浜工場のプラント建て替え、2018年内山コンクリート工業(株)工場移転に伴うプラント・事務所の新設、2019年浦安工場の事務所・プラントの新規建て替えを行なう等将来を見据えた計画的な設備投資を行っています。これらを通じて、高品質で多様な製品づくり、プラント故障による納入停止のない安定的な製品の供給および最新の工場設備を通じて重大災害の防止に努めています。

今後も、当社は社名であるアドバンス(前進)の名に相応しいパワフルな事業展開を推進し、新しい時代に向けて無限の可能性を追求してまいります。

